



潟上市章

かたがみ
Katagami

市議会だより

第36号



大豊小学校卒業式

3月定例会

H26(2014)04.01

平成26年(2014年)
4月1日発行

- 就任あいさつ 2
- 3月定例会 2~4
- 委員会報告 5~7
- 一般質問 8~12
7氏が市の方針をただす
- 2月臨時会・議会改革推進会議・
議会議員政治倫理審査会・関係
私企業の公表 12~13
- 常任委員会と議会運営委員会 14

2014年
3月定例会
3月6日~26日

平成26年度 一般会計
(当初予算総額) 各特別会計・企業会計

186億6,000万円
98億 472万円
を可決



就任にあたって

潟上市議会議長 伊藤 栄悦

市民の皆様には、日頃より市議会に対し、ご理解とご協力を頂き感謝いたします。去る2月24日第一回臨時議会において、議員各位のご支援を得て議長に就任いたしました。その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

地方自治の二元代表制における議会の責務は、市民を代表する議事機関として、行政が適正な市政運営を行っているかチェック・監視・評価機能を果たすこととあります。そのため、行政情報開示に基づく市民の多様な意見を的確に把握し、合議制機関として議員間の討議を活性化し、政策立案及び政策提言の充実・強化に努め市政に反映させ、市民全体の福祉の向上と市勢の更なる発展を図り、市民の信託に応えてまいります。また、

自治の憲法と言われる「自治基本条例」に引き続き「議会基本条例」「議員政治倫理条例」が制定され、民主的自治確立への方向性が示されており、その具現化に努めてまいります。さて、潟上市が誕生し10年目を迎えております。少子高齢化、福祉・医療・人口減少、財政健全化対策など時代の変化に伴う課題は山積しておりますが、総合発展計画等の成果基盤の上に、市当局・議会・市民それぞれの権限を尊重しつつ、三者協働のもと「市民の夢ある未来創造」に向け邁進してまいります。しかしながら浅学非才の存在ゆえ、皆様方のご指導、ご助言、ご協力を頂きながら職責を果たしてまいります。宜しくお願ひ申し上げます。就任のあいさつといたします。

● 主な事業 ●

- 新規** 議会中継システム導入事業 1,959万2千円
- 新規** 市制施行10周年記念事業 153万1千円
- 継続** 市役所庁舎整備事業 40億8,044万円
- 継続** 天王ふれあい交流センター温泉井掘削事業 1億4,817万2千円
- 継続** 商工会共通商品券事業補助金 1,000万円
- 新規** 豊川橋補修事業 2,050万円
- 継続** 市道大豊小学校線改良事業 7,000万円
- 継続** 住宅リフォーム補助金 3,900万円
- 新規** 防災行政無線デジタル化事業 7,540万円
- 新規** 国民文化祭開催事業 525万4千円

● 基金現在高(見込) ●

	平成25年度末	平成26年度増減	平成26年度末
財政調整基金	1,717,107	1	1,717,108
減債基金	47		47
ふるさと創生基金	6,725	▲ 6,725	
市役所庁舎建設基金	1,005,980	▲204,040	801,940
観光振興基金	539	▲ 539	
小学校建築基金	20,874		20,874
スポーツ振興基金	1,049		1,049
地域福祉基金	9,567		9,567
ふるさと水と土保全基金	7,593		7,593
ふるさと応援基金	8,999	▲ 1,000	7,999
合併振興基金	1,000,000	828,200	1,828,200
合計	3,778,480	615,897	4,394,377

● 一般会計歳入性質別予算 ●

区分	一般財源		特定財源		合計	構成比
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1 市 税	2,488,437	13.3	0.0	0.0	2,488,437	13.3
11 分担金及び負担金		0.0	130,882	0.7	130,882	0.7
12 使用料及び手数料		0.0	189,450	1.0	189,450	1.0
15 財産収入	2,788	0.0	1	0.0	2,789	0.0
16 寄附金	1	0.0		0.0	1	0.0
17 繰入金		0.0	248,155	1.3	248,155	1.3
18 繰越金	300,000	1.6		0.0	300,000	1.6
19 諸収入	27,648	0.1	155,883	0.9	183,531	1.0
小計	2,818,874	15.0	724,371	3.9	3,543,245	18.9
2 地方譲与税	131,000	0.7		0.0	131,000	0.7
3 利子割交付金	6,000	0.0		0.0	6,000	0.0
4 配当割交付金	1,000	0.0		0.0	1,000	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	1	0.0		0.0	1	0.0
6 地方消費税交付金	380,000	2.0		0.0	380,000	2.0
7 自動車取得税交付金	16,000	0.1		0.0	16,000	0.1
8 地方特例交付金	14,000	0.1		0.0	14,000	0.1
9 地方交付税	6,247,480	33.5		0.0	6,247,480	33.5
10 交通安全対策特別交付金	3,000	0.0		0.0	3,000	0.0
13 国庫支出金		0.0	1,762,032	9.5	1,762,032	9.5
14 県支出金		0.0	741,042	4.0	741,042	4.0
20 市 債	510,000	2.8	5,305,200	28.4	5,815,200	31.2
小計	7,308,481	39.2	7,808,274	41.9	15,116,755	81.1
歳入合計	10,127,355	54.2	8,532,645	45.8	18,660,000	100.0

● 各特別会計・企業会計予算 ●

会計名	予算額	前年比増減率
社会保障関係	7,518,769	3.7
国民健康保険事業特別会計	3,956,125	3.4
後期高齢者医療特別会計	273,326	0.6
介護保険事業特別会計	3,289,318	4.3
下水道関係	1,296,519	▲ 1.3
農業集落排水事業特別会計	102,742	1.7
下水道事業特別会計	1,186,940	▲ 1.5
合併処理浄化槽事業特別会計	6,837	1.5
財産区	12,772	315.6
豊川財産区特別会計	10,433	2,624.0
下虻川財産区特別会計	898	▲ 0.2
和田妹川財産区特別会計	654	▲ 35.4
飯塚財産区特別会計	787	1.3
企業会計	976,660	3.9
水道事業会計	976,660	3.9
計	9,804,720	3.1

● 一般会計歳出性質別予算 ●

区分	予算額	構成比	前年比増減率
義務的経費	6,928,039	37.1	0.7
人件費	2,884,272	15.4	▲ 3.3
扶助費	2,514,500	13.5	0.1
公債費	1,529,267	8.2	10.5
投資的経費	5,551,391	29.8	148.3
普通建設事業費	5,527,736	29.6	147.5
うち補助事業	360,718	1.9	▲ 66.4
うち単独事業	5,167,018	27.7	345.6
災害復旧事業費	23,655	0.1	688.5
その他	6,180,570	33.1	19.1
うち物件費	1,638,195	8.8	3.0
うち維持補修費	239,517	1.3	▲ 3.0
うち補助費等	1,505,585	8.1	5.9
うち一組負担金	850,146	4.6	▲ 0.8
うち操出金	1,874,072	10.0	2.1
うち積立金	828,201	4.4	82,820,000.0
歳出合計	18,660,000	100.0	30.5

● 一般会計当初予算総括表 ●

《歳入》				《歳出》			
款	予算額	構成比	前年比増減率	款	予算額	構成比	前年比増減率
1 市 税	2,488,437	13.3	1.3	1 議 会 費	231,555	1.2	14.2
2 地方譲与税	131,000	0.7	▲ 2.2	2 総 務 費	6,631,931	35.6	304.7
3 利子割交付金	6,000	0.0	0.0	3 民 生 費	4,945,804	26.5	4.2
4 配当割交付金	1,000	0.0	0.0	4 衛 生 費	897,102	4.8	▲ 45.2
5 株式等譲渡所得割交付金	1	0.0	0.0	5 労 働 費	6,620	0.0	▲ 65.8
6 地方消費税交付金	380,000	2.0	49.6	6 農 林 水 産 業 費	477,077	2.6	29.9
7 自動車取得税交付金	16,000	0.1	0.0	7 商 工 費	396,274	2.1	71.0
8 地方特例交付金	14,000	0.1	0.0	8 土 木 費	1,445,799	7.7	▲ 20.8
9 地方交付税	6,247,480	33.5	2.1	9 消 防 費	925,630	5.0	8.0
10 交通安全対策特別交付金	3,000	0.0	0.0	10 教 育 費	1,134,286	6.1	▲ 17.4
11 分担金及び負担金	130,882	0.7	▲ 0.7	11 災 害 復 旧 費	23,655	0.1	688.5
12 使用料及び手数料	189,450	1.0	4.1	12 公 債 費	1,529,267	8.2	10.5
13 国庫支出金	1,762,032	9.5	▲ 17.7	13 予 備 費	15,000	0.1	0.0
14 県支出金	741,042	4.0	▲ 2.3	歳 出 合 計	18,660,000	100.0	30.5
15 財産収入	2,789	0.0	0.0				
16 寄附金	1	0.0	0.0				
17 繰入金	248,155	1.3	733.1				
18 繰越金	300,000	1.6	▲ 35.1				
19 諸収入	183,531	1.0	▲ 8.8				
20 市 債	5,815,200	31.2	318.4				
歳入合計	18,660,000	100.0	30.5				

3月定例会に提出された議案等

全案可決

■ 条例の制定・改正

- ・ 多目的交流施設設置条例
- ・ 空き家等の適正管理に関する条例
- ・ 定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例
- ・ 社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 集会所設置条例の一部を改正する条例
- ・ 障害者居宅支援金条例の一部を改正する条例
- ・ 工場等設置奨励条例の一部を改正する条例

■ 補正予算

- ・ 一般会計補正予算（第10号）
- ・ 国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- ・ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）
- ・ 介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

- ・ 農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）

- ・ 下水道事業特別会計補正予算（第4号）

- ・ 豊川財産区特別会計補正予算（第1号）

- ・ 下虻川財産区特別会計補正予算（第1号）

- ・ 和田妹川財産区特別会計補正予算（第1号）

- ・ 飯塚財産区特別会計補正予算（第1号）

■ 各会計への繰り入れ

- ・ 平成26年度農業集落排水事業特別会計への繰り入れ
- ・ 平成26年度下水道事業特別会計への繰り入れ
- ・ 平成26年度合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れ

■ 市道路線の認定及び変更について

- ・ 市道路線認定 10路線
- ・ 市道路線変更 19路線

陳情

採 択

- 要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する陳情書
- 手話言語法（仮称）制定を求める意見書採択に関する陳情書
- 地方自治体の臨時・非常勤職員への処遇改善と雇用安定のための法改正に係る意見書採択に関する陳情書
- これからの勤労青年教育のあり方に関することについての陳情書

不 採 択

- 最低賃金の改善と中小零細企業支援の拡充を求める陳情
- 雇用の安定を求める陳情
- 特定秘密保護法の廃止を求める陳情
- 特定秘密保護法の廃止を求める意見書について

継続審査

- 妹川浜生活改善センターの全面改築についての陳情書

（総務文教常任委員会）

議会選出の監査委員 選任案に同意

菅 原 久 和

昭和大久保
字小川中道66番地2
昭和25年4月21日生

総務文教

市はどう答えたか

委員長 大谷 貞廣
副委員長 佐藤 敏雄
委員 堀井 克見
委員 佐々木 嘉一
委員 西村 武
委員 千田 正英
委員 鈴木 斌次郎

●平成25年度一般会計 補正予算(第10号)

問 追分小学校の増改修工事関係予算4億8千万円の補助金要望はいつか。

答 昨年の6月要望し、12月19日予算計上の要請があり、国の予算の成立後今回の予算計上となりました。

問 当該工事を3月の最終予算に計上し、繰越しするのはなぜか。

答 国の経済対策の一貫であり、事業執行を切れ目なく行うものです。

●平成26年度一般会計 予算

問 合併振興積立金(18億2,800万円)の目的、用途について説明を。

答 基金条例は12月定例会で制定済。用途については「合併に伴う住民の連帯強化及び地域振興に資する事業」に充てるもので「自治会活動」「コミュニティ活動の振興」「地域活性化イ

ベント」等々を想定しています。

問 基金の源資は合併特例債ですが借入利息はいくらか。

答 現在の利率は1%です。

問 今なぜ基金事業を必要とするのか。

答 合併当初は財政厳しく財政健全化を優先した。昨年未条例化を検討し、一般財源を必要とするソフト事業を対象として、基金事業を計画しました。

問 大久保駅舎改築に伴うJRへの実施設計費の負担金604万8千円の、東西自由通路との関係は。

答 大久保駅舎、東西自由通路の件は、JRと協議した結果、大久保踏切は駅構内にあり基本的には構内踏切は設けないということ。東西自由通路を設置した場合は現在の大久保踏切は撤去が希望、要望という事であった。また東西自由通路

施工の予定財源として合併特例債の活用は難しいとの見解で、こうした経緯もあり駅舎改築をし、東西自由通路は別の機会という流れとなりました。

問 先般、さががけ新報に「市民からの要望のある東西自由通路の設置は、予算の関係上今後の検討課題」と報道された。これは最終宣言とも解されかねないがどうか。

答 市長に報告しておきます。



多目的交流施設

問 放課後児童クラブの運営については、入所を希望する児童が多数にのぼり、特に追分地区が急増し、待機児童が生じている状況であるが、どのような認識か。

答 追分地区は宅地開発が進み放課後児童クラブの利用が増加する傾向にあります。子ども・子育て支援新制度に係るアンケート調査の結果や全体的利用実態を分析し、対処方針を平成26年度中に目途をつけます。

問 公共交通の空白地域である昭和豊川株山、草生土、真形地区にデマント型タクシーの実証運行は久しい問題であり前進した。市内には空白地域があるがその対策はどのように考えているか。

答 今回は、実証運行(一年間)であり地域の協力は不可欠です。良い結果を得て本格運行に結びつけたいと思っています。また今回の実証運行の結果を得て他の地域導入も考えています。

社会厚生

市はどう答えたか

委員長 鏡 仁志
副委員長 菅原 久和
委員 澤井昭二郎
委員 戸田 俊樹
委員 伊藤 正吉
委員 伊藤 榮悦

●空き家等の適正管理に関する条例

問 空き家条例の必要性と自治会への対応は。

答 環境・防災の観点から突風や集中豪雨などが発生した場合、被害を及ぼす以前に所有者等に対して適正な管理を促し、行政における対応と所有者等の責務を明確にするためです。

自治会による空き家調査の結果については、自治会と行政との情報共有の観点から適切に対応していきま



空き家の状況

●平成26年度一般会計予算

問 ペットボトルの袋は無料ですが、ビンについても収入があるので、資源ごみとして、無料にできないのか。

答 ビンについては、リサイクル料を市町村負担金として容器包装リサイクル協会に支払われるので処理手数料は必要と考えておりません。

問 最終処分場の使用最終年度と今後の計画は。

答 平成32年度末を目標としており、平成26年度から基本方針の作業に入りたいと考えております。

問 雨量計電話応答通報装置とはどのようなものか。

答 電話回線を利用して、降雨量の状況を把握することが可能となる装置で、馬踏川や豊川の上流域に降る局地的な雨量を把握することができない状況なので、

必要な降雨量情報が必要な時にリアルタイムに把握し、避難勧告や避難指示等の発令に活用するため、豊川新薬分館に設置するものです。

問 子育て世帯特別給付金の対象者は。

答 平成26年1月分の児童手当を受給されている方を対象に支給されます。ただし臨時福祉給付金は、平成26年度市民税非課税者が対象となるので児童にも支給されますが、どちらか一方で支給されません。

●平成26年度国民健康保険事業特別会計予算

問 国保の加入者が減っているにもかかわらず医療費が増えている理由は。

答 加入者の減は、75歳の年齢到達により後期高齢者医療制度への移行が年間約100人位と、社会保険等への加入が約350人位となっており、合わせて450人程減となっております。

医療費の増額につきまして医療水準の向上や設備の近代化、高度医療等による一人当たりの医療費が増加していることによるものです。

●平成26年度介護保険事業特別会計予算

問 24時間対応の定期巡回随時対応型訪問介護看護は、どこの事業所でサービス内容は。

答 社会福祉法人正和会が行うサービスで、大久保駅裏に建設中の地域密着型特別養護老人ホーム内で事業を行います。

内容は、ホームヘルパーや看護師が要介護認定の高齢者宅を一日定期的に訪問するほか、緊急時や夜間にも対応するサービスです。県内では、にかほ市と潟上市で初めて開始されるものです。

産業建設

市はどう答えたか

委員長 中川 光博
副委員長 菅原理恵子
委員 小林 悟
委員 藤原 幸雄
委員 藤原 典男
委員 佐藤 義久
委員 児玉 春雄

●工場等設置奨励条例の一部を改正する条例

問 用地取得に対する助成率（新設30%、増設15%）、設備投資に対する助成率（新設20%、増設10%）この違いは。また、現在立地している企業の面積は。

答 今回の制度改正にあたっては、まずは本市において企業に進出してもらったことが大前提にありました。

したがって、設備投資に対する助成率よりも用地取得に対する助成率を高め設定しています。面積は、全体の約3割です。

●平成25年度一般会計補正予算（第10号）

問 元木山公園の指定管理面積及び場所は。

答 元木山公園の面積は21・2haで、場所は元木山公園7号線バイパスから西側の都市計画決定された区域ですが、供用開始区域が17・4haで、そのうち整備されたのは、野球場、陸上

競技場、広場、園内路などで、指定管理の場所は、整備された施設周辺となっています。

●平成26年度一般会計予算

問 観光協会補助金、地域活性化イベント事業費は。

答 飯田川鷺舞まつりで20万円の増、八郎まつりで20万円の増です。

地域活性化イベント事業費はキャラクターショーが25万円の増、芸能ショーが235万円の増、打ち上げ

花火に関する実行委員会補助金が200万円の増となっています。いずれも市制10周年記念事業によるものです。

問 天王ふれあい交流センター温泉井掘削工事の工期は。

答 掘削工事は7月末、設備等については8月末となっています。

7月末に県の温泉審議会があり、その回答を得てから8月中の新井戸による営業再開を目指しています。

●平成26年度合併処理浄化槽事業特別会計予算

問 合併処理浄化槽の市の管理と個人の管理の違いは。

答 補助事業は、市町村設置型と個人設置型の2種類があり、市町村設置型は市で設置して維持管理も市で行うもので、そのため使用料を徴収します。

個人設置型は国・県・市から補助を受けて個人で設置するもので、維持管理も全部個人で行うものです。

●平成26年度水道事業会計予算

問 昭和浄水場・町後ポンプ場自家発電設備実施設計業務委託は。

答 現在昭和地区には自家発電装置がありませんので、26年度で実施設計を委託し、27年度で自家発電装置を付ける予定です。

これにより27年度中に元木山のタンクまで停電時でも自家発電で送水できます。



くらら温泉井掘削工事

街の顔・長期展望を



佐藤 義久
議員

駅西口、連絡道の設置を優先すべきでは

質問 大久保駅「老朽していたかな」が実感で、トイレの水洗化は必要です。旧町では踏切の渋滞解消にも駅西口が必要とし、小玉医院が移転後はエレベーター設置も進言。さらに「ローズ・タウン」が民間開発の際は行政が駐車場と中央道幅20mで協議し分譲され駅周辺構想は出来ていたが如何か。
答弁 (副市長) 新市計画に盛り込まれていきます。老朽している駅舎、駐車場の狭隘解消が重要で西側乗降は、安全確保できるか検討しま

す。地域の玄関口でありJRと協議します。
答弁 (市長) 気持ちはやまやまですが、財源がどうなるか検討もしていません。それによって考えが変わります。



年間34万人乗降の大久保駅

市が直面する当面の課題

質問 ①観光客を誘客するため、石油発見100年の年・博物

館(展示館)の構想を、豊川油田・日本の最大アスファルトの産地として知られ、ナウマンゾウの化石も発見されており、人口減少の時代に交流人口を求めた政策が必要です。
また、ジオパーク離脱は、潟上市の多大な損失。この事の市長のご所見は。
答弁 (教育部長) 歴史的な地域遺産として保存・保護に努めます。
答弁 (市長) 石油を考え潟上も男鹿・大潟とともに1・2年は研究期間としていた。
すぐに負担金要請があり離脱した。豊川油田がジオパーク指定ならば、なぜ八橋や新潟油田はならないのか。豊川油田は今、地域と油の関係で会社と「しっくりいってない事も」ありました。観光地にするためには、大型バス道路が必要で、経費が想定出来ませんでしたので撤退しました。

質問 ②飯田川・昭和の庁舎活用については重要な課題、大久保駅前と二田駅前の振興が街づくりで大切な位置にある。駅前には賑わいの創出が必要であり、すべての公民館、昭和庁舎の活用は掛かります。客席1,000席規模のホールを庁舎改造せず「文化施設」として活用する。また、天王公民館は改築の必要があるか。
答弁 (総務部長) 建設費が巨額な事や運営費が市民の負担になり、現状では整備計画は有りません。庁舎の現況、周辺への影響に配慮、活用効果を検討し計画を策定します。天王公民館は検討します。
質問 ③八郎潟ハイツの再建について、市内唯一の宿泊施設として観光客誘客のためには必要と思うか。
答弁 (総務部長) 耐震診断は3月28日報告を受け、再建か用途変更か地域の意向を踏まえ、検討します。



藤原 幸雄
議員

最近海の地形変動に伴い船

越水道が浅瀬になり、漁船の安全航行が危ぶまれている状態です。江川にはベテラン漁業者も多くいるが、年に何回となく浅瀬に乗りあげスクリューと舵を曲げたり、座礁もあつたようです。是非早期に浚渫を望みます。
答弁 (市長) 市では河川管理者である県に対し、船越水道の浚渫の要望書を提出しております。県で

はそのことを受けて調査費を計上し、平成25年に浚渫する運びとなりました。台風18号の到来により、防潮水門を全開したことに伴い、航路に大量の土砂が堆積し、船の航行ができない状況にありましたので浚渫の事を前倒しするよう要望した結果、昨年の鯛漁前に行つたものです。県より船の安全航行

一向、江川、八坂団地等、海面に属している所では危険です。昨年天王、江川自治会、漁業関係者等が避難タワーの先進地研修をしたようですが、具体的に詳しくお伺いし併せて国、県からのような指導があったのか。
答弁 (市民生活部長) 本市でも天王、江川、八坂団地等の地域が津

を行うには、航路設定が必要との意見が出されています。
男鹿市と2つの行政区にまたがる指定となるため、全国的に例がなく難しいと考えられるが、県と協議をします。
質問 本市でも津波となれば天王

波浸水域として想定されています。海岸部を中心とした津波被害の具体的な軽減策の検討を目的に津波浸水域に想定された自治会代表者等13名で、津波災害への先進的な対策を実施している、静岡県御前崎市、掛川市、沼津市の避難タワーについて昨年7月に研修してまいりました。その後の意見交換では、避難場所までの距離が遠い地域に対しては、タワーの設置



避難タワー

非常勤職員の労働条件について



藤原 典男
議員

質問 職種や労働時間の制限もあり手取り収入が10万円に満たない月もある。労働契約法の精神で時給の値上げ、通勤手当、時間外手当、育児休暇などの改善を図るべきではないか。
答弁 (総務部長) 職種別基本報酬等基準により基本報酬は時間額として定めており他市町村と比べて少なくないと認識しております。労働契約法は公務員には適用しません。4月1日より公民権行使等、忌引き、子の看護の特別休暇を有給にします。年休、育児休業も与えております。非常勤職員は

人工透析患者通院支援費について

質問 人工透析を行っている患者さんへの通院交通費の助成制度の充実と他の特定疾病への拡大に対する見解を伺いたい。距離により支援額を定めている自治体もあるが改善を図るべきではないか。
答弁 (福祉保健部長) 本市では通院費補助金の対象は28名です。秋田市へは自家用車、市内ではタクシーを利用する傾向です。身体障害者手帳を有する方への交通費補助として人工透析患者通院費補助制度のほかに障害福祉サービス事業へ通院する方への交通費補助制

保育行政と保育士の増員について

質問 毎年、保育士や保育補助員の要員不足がある。入所希望しても待機児童がいないように抜本的解決、職員化、保護者からの要望への対応は。
答弁 (教育長) 本市では保育士の確保が最重要と捉え4月1日より非常勤保育士の時間額を900円から1,000円に引き上げます。本年3月4日現在、新入園児の申し込みは191人で39人に入園の

決定通知が出せない状況です。昨年の8月に子ども・子育て支援法という法律ができました。現在移行期間として保育所、幼稚園、認定こども園の制度をどう活用させるのかという制度がしっかりした段階で職員化も検討していきます。保護者や地域のニーズなどについては把握しながら子ども・子育て会議の中で検討していきます。



湖岸保育園内

市民文化ホールの建設について



佐藤 敏雄
議員

質問 市民文化ホールとは劇場タイプの多目的ホールを持つ文化施設であります。他市では、芸術文化のより振興に向け、早くから文化ホールを建設している現状であります。

豊かな心を育む施設に対する市民の声は時代の趨勢に伴い年々多様化しております。潟上市が誇れる新たな交流の大拠点が必要不可欠であり、市長の英断は。

答弁（市長）市民が文化を創造し享受するためには、文化・芸術を

鑑賞できる機会と芸術文化活動に参加できる環境を整えていくことが大切であります。
現状では整備計画はありませんが、近年、文化会館の要望は市民の中からも多くなってきたのは理解しておりますので、内部での検討は必要ではないかと思っております。

国民文化祭の催し物について

質問 国民文化祭は全国から結集し演劇、吹奏楽、美術作品などを発表する文化の祭典であり「文化の国体」といわれております。

我が潟上市では「自然と暮らす・日本の原風景写真コンテスト」の開催となっております。本当に



国民文化祭「日本の原風景写真コンテスト」

素晴らしいと思えますが、当市としても時代を担う若い世代を中心とした活気に満ち溢れるイベントがもつと必要ではないだろうか。今後の芸文協、向上のための対策は。
答弁（教育部長）若者の画期的なイベントは当市にとっては必要で新たな文化であると思えます。
この後、機会を通して活気あふれるイベントについて教育委員会としては、その基盤づくりに努めていきたいと思っております。

天王公民館の音響設備について

質問 芸術は音響により時には演出を高め、時には感動を与えるなど、音響の効果は人を魅了するものであり現代社会に見合う誰でも使用しやすい音響機器の導入は。
答弁（市長）交換すべきであれば、しかるべき処置をしたと思えます。

答弁（教育部長）利用者の皆さんのご意見を伺いながら常に把握に努め、もし不備などがあれば迅速に対応していきたいと思えます。

昭和庁舎と周辺整備方針について

質問 現庁舎（天王、昭和、飯田川）の利活用については地区住民による検討委員会が検討され概略は示されていますが、決定されていません。新庁舎完成は来年3月であり、早期に答を出すべきでないか。
答弁（総務部長）現庁舎の利活用については、それぞれにおいて地域の拠点として活用、発展してきた。現庁舎の今後の方向も地域活性化を基本として検討します。

昭和庁舎を潟上市産業・文化拠点に未来創造プロジェクトとしての検討を



佐々木 嘉一
議員

合併10年目の節目と総合発展計画について

質問 市発展計画の改定作業のための関係予算が措置された。これまで10年を基盤とし今後5、10年

を展望する市長の所信は。

答弁（市長）これまでの10年の政策を評価、分析し市民評価を踏まえ進めます。次期計画のキーワードは人口の減少、少子高齢化の進行対策であります。また社会経済情勢、多様化する住民ニーズを反映し、国県の上位計画との整合性を十分考慮して進めます。

める一方、市街化調整区域の開発許可を進める事は都市計画の推進上矛盾してはいないか。
答弁（産業建設部長）最近住宅地需要も減少し、開発は低迷しています。また宅地開発は民間主導が主旨であります。都市計画に定める区域の趣旨は理解しています。それぞれの生活圏の維持、向上という事もあり不均衡、政策矛



市街化区域内農地の現状

中小企業振興対策等について

質問 高齢化で後継者不足を要因とする小規模零細企業の廃業、又大規模小売店の進出に伴う地元商店の衰退等、多くの問題に直面している地元中小企業のサポート体制の強化が必要と思うが。

答弁（産業建設部長）中小企業振興策は、雇用環境も含めた地域経済社会を形成する中核をなすものであり、地元商工業の活性化に寄与できるよう取り組むと考えており、これまでも中小企業振興融資保証料補助金や、中小企業振興融資制度預託金等でサポートし今後も継続して、事業主が設備投資や雇用確保に向け対応できるように努めてまいります。

産業の振興と6次産業の推進について

質問 本市では、農林漁業関係に関する自然資源もあり、近年耕作放棄地等が目につくようになり、これらを活用し特産品の開発や6次産業推進の考えは。
答弁（産業建設部長）本市においての取り組みで生産から販売に取り組み一法人が6次産業化の総合事業計画の認定を受けており、事業を推進しているところで、今後中核施設を核とし農産物の生産から販売等の6次産業化に向けた取り組みを支援してまいります。

合併10年後のまちづくりの指針について



西村 武
議員

質問 市は平成18年度より、27年度を目標年次とし総合発展計画を策定し、前期・後期と区分し市政運営を行っているが今年合併10年目であり、今後の方針で次の3点について伺う。(1)10年後のまちづくりは。

答弁（市長）総合発展計画は平成27年度が計画最終年度であり、28年度以降のまちづくりの指針となる総合計画を策定する準備作業に26年から取りかかりたいと考えており、人口減少社会を見据え現行の計画とは方向性が異なってくることは確実です。

質問 (口)地域文化、伝統芸能、地域間の交流等を推進するための文化会館建設等の考えは。
答弁（市長）文化は人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらす豊かな人間性を涵養し、創造性を育むため極めて重要と考えています。文化会館の建設は内部で検討を要する必要があると考えております。

質問 (ハ)平成23年度から25年度事業計画に対する実施の進捗状況と課題は。
答弁（市長）後期基本計画をベースに3年を計画期間として、毎年度末に進捗管理及び実施計画のフォローアップ作業を行い、24年度までの計画全体の進捗率は96・9%で、今後も計画の推進に努めてまいります。

質問 提議ですが、新庁舎は潟上市の行政拠点、昭和庁舎は、産業文化拠点としての整備方針はどうか。
答弁（市長）ご提案の件については、民間活力を引き出し、未来創造的なプロジェクトとして、私も同感です。今後考えて進めたいと思えます。



食堂館くらら

子育て支援について



菅原理恵子
議員

十分な受け入れ体制について

質問 子育て支援制度を受けて、認可保育園の基準就労時間は、**【答弁】**（教育長）現時点での基準就労時間は特に定めてないが、パートで4時間以上、6時間以上と、その時間数に応じて指数を決め優先順位を決めています。

質問 学区内での保育園受け入れ体制についての考えは。**【答弁】**（教育長）「子ども・子育て新制度」の施行に向けて、子育て

支援にかかわるアンケート調査を実施し取りまとめているところですが、アンケートの結果で、潜在的保育のニーズやサービスの利用意向が把握されることから、対応について検討してまいります。

を配布して見ては。**【答弁】**（教育長）平成24年度に策定している「潟上市子ども読書活動の推進計画」に基づき「かたがみっ子」が読書を楽しみ、読書習慣を身につけるような環境づくりに努めている。「読書通帳」の導入については、市民の読書への意欲を高めるため、市図書館協議会で検討していく考えです。

消防団の処遇改善について

質問 年額報酬や出務手当と退職金の額の改善を行うべきと思うがいかがか。**【答弁】**（市民生活部長）平成24年3月に年額報酬並びに出務手当の増額改正を行っており、隣接市より報酬は高い状況になっています。

【答弁】（生活環境課長）退職金につ



消防団の操法大会

いては、全国一律に引き上げというところで、退職組合の方で条例改正され引き上げされることになっています。**質問** 「装備の拡充」についての取り組みは。**【答弁】**（市民生活部長）今後は、各地区に組織されている自主防災組織と消防分団との連携強化を目的とした各種救助資機材や避難用備蓄品など、計画的に充実させたいと考えております。

2月臨時会

改選後初の議会は2月24日午前10時から昭和庁舎議場にて開催されました。議長には伊藤榮悦議員、副議長には鈴木斌次郎議員が選挙により当選しました。

続いて常任委員会・議会運営委員会・議会改革推進会議・議会議員政治倫理審

査会の委員の選任、一部事務組合・広域連合議会議員の選挙、議会広報編集特別委員会の設置決議と委員の選任を行いました。
また、専決処分1件を承認しました。
◆専決処分の内容
●平成25年度一般会計補正予算(第9号)除排雪経費として1億5,000万円を追加するものです。

◆議会運営委員会

	氏名
委員長	佐々木 嘉一
副委員長	戸田 俊樹
委員	小林 悟
委員	藤原 幸雄
委員	中川 光博
委員	児玉 春雄

◆議会広報編集特別委員会

	氏名
委員長	小林 悟
副委員長	伊藤 正吉
委員	佐々木 嘉一
委員	藤原 典男
委員	西村 武
委員	菅原理恵子

◆議会改革推進会議

	氏名
委員長	藤原 幸雄
副委員長	千田 正英
委員	佐々木 嘉一
委員	戸田 俊樹
委員	大谷 貞廣

◆議会議員政治倫理審査会

	氏名
委員長	中川 光博
副委員長	小林 悟
委員	堀井 克見
委員	西村 武
委員	児玉 春雄

議会改革推進会議

議会基本条例に基づき、条例の運用・検証・見直し・啓発に関する事項、議会改革の推進に関する事項の協議を行います。

議会議員政治倫理審査会

議会議員政治倫理条例に基づき、議員の政治倫理に関する事項の審査を行います。



関係私企業の公表

「潟上市議会議員政治倫理条例」に基づき、議員から関係私企業等の届け出がありましたので、その概要を公表します。就業報告書(役職となっている団体等の名称等を記載)は閲覧することができますので、議会事務局に申し出ください。

3月1日現在のものを議席番号順に掲載しています。

氏名	職業	本人が実質的に経営に携わっている企業・役職名
鏡 仁志	米穀小売業	鏡惣米穀店 代表者
堀井 克見	無職	
佐々木 嘉一	農業	(農)ファーム上蛇川 代表理事
小林 悟	会社役員	昭和電気工業(株) 代表
澤井 昭二郎	農業	
藤原 幸雄	土地賃貸業	
佐藤 敏雄	管理美容師	髪の十兵衛 代表
藤原 典男	政党役員	
西村 武	会社役員	(有)天王バッティングセンター、翔和ゴルフガーデン 代表取締役
千田 正英	無職	
戸田 俊樹	農業	
菅原理恵子	無職	
中川 光博	無職	
佐藤 義久	著述業	明玉商機 代表
児玉 春雄	無職	
大谷 貞廣	無職	
伊藤 正吉	無職	
菅原 久和	会社役員	菅久合資会社 代表社員
鈴木 斌次郎	農業	
伊藤 榮悦	無職	

常任委員会と議会運営委員会

潟上市議会には、本会議における審議の予備的審査、調査機関として3つの常任委員会と議会運営委員会が設置されています。議員は少なくとも1つの常任委員会の委員となり、任期は条例で2年となっています。

常任委員会

総務文教

総務部、教育委員会、会計課、監査、選管、議事事務局に関する事務の調査、議案、陳情などの審査を行います。



社会厚生

市民生活部、福祉保健部に関する事務の調査、議案、陳情などの審査を行います。



産業建設

産業建設部、水道局、農業委員会に関する事務の調査、議案、陳情などの審査を行います。



議会運営委員会

議会の運営を円滑、効率的に進めるため、議会の運営、議会の会議規則、委員会条例、議長との諮問に関する事項について調査、審査を行います。



編集後記



春の足音を感じる季節になりました。市議会議員の改選により、各委員会構成が新たになり広報編集委員が選出されました。議会活動を広く市民に伝えるため、わかりやすく、親しみやすい「市議会だより」をめざして努力いたします。また、広報の基本である公平・中立を肝に銘じて紙面づくりを進めてまいります。委員一人ひとりの個性を活かし、正確な活きのいい情報の提供に努め、市民と議会の懸け橋となれるよう委員一同頑張りますのでよろしくお付き合いをお願いします。
(委員長 小林 記)

